

【JAXA能代ロケット実験場開設50周年記念事業】開設50周年と同時に銀河連邦が交流25周年を迎えるため、おなごりフェスティバルに合わせ9月8、9日、(仮)銀河フェスティバルin能代の開催を予定している。記念事業として特別講演を始め、実験場主催の記念式典と祝賀会、銀河連邦交流事業としてサンリクオオフナト共和国の子供たちとの交流会のほか、子ども館のリニューアルオープン、エナジウム

パークでの写真展示などの事業を予定している。今後、実行委員会を立ち上げて進めていく。また、実験場の歴史や役割について、広く市民へ周知したい。

【コミュニティ助成事業費】宝くじの社会貢献広報事業をする(財)自治総合センターの助成金を活用し、小繋会館建設費に1500万円、文化会館主催事業業務委託に170万円交付する。今回の活用事例など広報等で周知したい。

【固定資産税評価額の实情】今後合っているか情報収集し調査してみる。

【消火栓の更新予定】老朽化した120基は毎年15基ずつ更新する。(安岡)

【二ツ井町庁舎外壁タイル改修工事】タイルの耐用年数は40年だが、10年〜15年で剥離する。今後は定期的に確認し補修する。耐震性は問題ない。

【指定管理者制度導入のメリット等を市民に丁寧に説明すべき】今後は市民に対し、意を尽くして説明していきたい。

【いのちの教育あつたかエリア事業の内容】生命尊

重を中心とした道徳教育を「いのちの教育」として推進し、学校や家庭、地域が連携しながら地域社会全体で命の大切さの認識を深めるためのモデルづくりを行う。能代東中、第五小、崇徳小、鶴形小で実施し、校種間連携や体験活動、地域人材活用の3点を中心としてとらえ進めていく。(伊藤)

【鳥小屋15号線の雨水の排水先と排水量の増加】同路線の雨水は藤山線に排水される。開発行為を行う際は排水量をふやさないことを前提としており、同路線についても排水量の増加はないと認識している。

【市道路線認定後の舗装などの地元要望】財政状況や他の道路の損壊状況

ある。プランを作成することで国の青年就農給付金、農地集積協力金、スーパール資金の5年間無利子化などの支援を受けることができる。

【公共施設再生可能エネルギー等導入推進事業】太陽光パネルで発電した電気の常時6割程度を蓄電池にため災害時の初動操作を行う必要最小限の箇所で使用できるようにする。地域防災計画で避難施設とした全小中学校のほか文化会館、二ツ井町庁舎に設置する。(渡辺)

【市営住宅の需給が逆転するとされる平成29年度以降の、長期的な公営住宅全体に対する市民ニーズの想定】市の人口推計では将来人口は減少しているが、市営住宅の需要には経済状況等も影響してくることから、一概に想定することは困難と考える。そのため、人口動態等を十分注視し、また入居の申し込みの状況を小まめに確認しながら、市民ニーズを把握し、検討していきたい。(庄司)

【国保税率改定による世帯への影響】平成24年申告所得等で試算した場合、24年4月1日の加入世帯数9,753世帯のうち、約130世帯は増減なし、約40世帯は増額、そのほかの世帯は減額になる見込みである。

【能代市公民館条例等の一部改正について、各施設の審議会や協議会との話し合いがなされていない。時間をかけて議論してから提案すべき】教育委員会としては将来教育文化施設等への指定管理者制

【指定管理者制度導入のメリット等を市民に丁寧に説明すべき】今後は市民に対し、意を尽くして説明していきたい。

【いのちの教育あつたかエリア事業の内容】生命尊

重を中心とした道徳教育を「いのちの教育」として推進し、学校や家庭、地域が連携しながら地域社会全体で命の大切さの認識を深めるためのモデルづくりを行う。能代東中、第五小、崇徳小、鶴形小で実施し、校種間連携や体験活動、地域人材活用の3点を中心としてとらえ進めていく。(伊藤)

【鳥小屋15号線の雨水の排水先と排水量の増加】同路線の雨水は藤山線に排水される。開発行為を行う際は排水量をふやさないことを前提としており、同路線についても排水量の増加はないと認識している。

【市道路線認定後の舗装などの地元要望】財政状況や他の道路の損壊状況

ある。プランを作成することで国の青年就農給付金、農地集積協力金、スーパール資金の5年間無利子化などの支援を受けることができる。

【公共施設再生可能エネルギー等導入推進事業】太陽光パネルで発電した電気の常時6割程度を蓄電池にため災害時の初動操作を行う必要最小限の箇所で使用できるようにする。地域防災計画で避難施設とした全小中学校のほか文化会館、二ツ井町庁舎に設置する。(渡辺)

委員会審査報告



総務企画委員会

文教民生委員会

総務企画委員会

建設委員会

環境産業委員会